

議案第19号 平成28年度八千代市一般会計予算の組み替えを求める
動議について

上記の動議を会議規則第16条の規定により提出します。

平成28年3月17日

八千代市議会

議長 嵐 芳 隆 様

提出者	八千代市議会議員	植 田 進	㊟
賛成者	八千代市議会議員	伊 原 忠	㊟
	同	堀 口 明 子	㊟

提案理由

1. 組み替えを求める理由

八千代市の財政状況は、H26年度決算に見られるように、類似団体のなかで財政力指数を除く他の指標では、いずれも最下位クラスに留まっている。

秋葉市長は、自らの公約を裏切って新川ハコモノを推進、その結果、近隣市と比較しても膨大な借金を抱えるに至っている。そのつけを市民に押しつけたのがH27年度予算であり、総額13億円にもなっている。

しかし、このH27年度予算編成には、歳入を過少に、歳出を過大に見積もっているのではないかと日本共産党は繰り返し指摘をしてきたところであり、今議会に提出された補正予算をみれば、その指摘が見事に的中している。一般会計では、財政調整基金の取り崩しのために、10億3,000万円を見込んでいたが、大部分を取り崩すことなく翌年度に繰り越している。

さらには、特別会計の国民健康保険事業会計でも、医療給付費の過大見積もりを指摘してきたが、その結果は約10億円もの減額補正となって提案されている。

あらためて日本共産党は、H27年度の13億円もの負担増の一部でも市民に還元すべきであり、その復活を求めて予算の組み替えの動議を求めるものである。

2. 組み替えの基本方針

(1) 今回、他の会派から予算の修正案が提出されているが、いずれも市民の要求に応えたもので賛同できるものである。

同時に、昨年度予算で、減額又は削減されたものには、生きていくための必要不可欠のものも含まれており、このまま見過ごすことはできない。

(2) 国民健康保険料、介護保険料の引き下げには、市の財政のやりくりだけでは解決できるものでなく、国に対し一層の交付金の増額を求めるものである。

さらに、保育園・学童保育の待機児童の解消のために、本格的、抜本的な対策が求められている。

八千代市は、そのための具体的・緊急的な対応をすべきである。

3. 組み替えの内容

総額2億3,900万円を財政調整基金から取り崩し、市民の安全・安心のために学校の教室にエアコンを設置するための調査費として500万円を計

上、配食サービスへの助成を従前の300円に戻し2,700万円、公民館として役割充実のための主催講座費用として80万円、公立図書館購入費の増額に1,200万円、高齢者へのインフルエンザ助成1,000円に戻すことで610万円、時間外保育料の保護者負担の軽減で1,074万円、子ども医療費の窓口負担の軽減で1,700万円、甲状腺がん検査費用の助成として、36万円、さらに、国民健康保険料については、保険者支援分として約1億6,000万円が交付されているが、他の自治体では国保料の引き下げのために充当しているが、八千代市では歳入・歳出にそれぞれ予算計上されていることから、一般会計から国保会計に対し、その他繰入金として1億6,000万円を追加し、約3億7,600万円とするものである。

H28年度一般会計予算(案)に対する組み替え

千円

歳入		
費目	金額	備考
財政調整基金	239,000	取り崩しの増
計		

歳出	金額	備考
学校エアコン導入のための調査費	5,000	
配食サービス費	27,000	100円⇒300円に増額
公民館主催講座	800	
公立図書館図書購入費	12,000	
高齢者インフルエンザ費	6,100	500円⇒1000円に増額
時間外保育料	10,740	
子ども医療費窓口負担	17,000	300円⇒200円に引き下げ
甲状腺がん検査費	360	3000円/一人×120人分
国民健康保険料の引き下げ	160,000	一般会計から繰り入れ
計	239,000	